



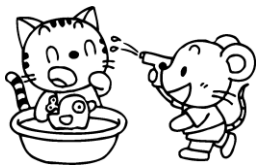
# 片瀬のぞみだより

宗教法人日本基督教団片瀬教会付属

## 片瀬のぞみ幼稚園

2024年7月号

家庭通信 2024 No.9



### 「幼稚園での水遊びの魅力」



22日(土)には、雨予報がいつの間にか晴れに変わり、この時期ならではの引き潮で磯遊びを行うことができました。スタート時は、中々見つけられなかった磯の生き物たちも「あっ、かにさん!、おさかなもいる～」と子どもも大人も夢中になって探し、捕まえて楽しむことができました。朝のあいさつでも話しましたが、この磯遊びは怪我や事故の危険が高く、近年の子どもたちとの園外活動としては難しいものなのかもしれません。しかし、そこは子どもたちのため、リスクを怖がることなく保護者の方々のご理解とご協力をいただければ、こんなにも楽しく、子どもたちと神さまが創られた自然のすばらしさに気付ける片瀬のぞみ幼稚園らしい活動とすることができました。感謝申し上げます。

さて、7月を迎え一学期もあと2週間となり、段々と夏の訪れを感じる梅雨の晴れ間には、プール、水遊び、泥んこの片瀬のぞみ幼稚園「夏の3大遊び」が始まりました。園庭中が水浸しになり、水しぶきがそこらじゅうで飛び散ります、もはや水のカーニバル状態です。プールを選ぶ子、園庭で駆け回って水遊びを楽しむ子、泥んこの水たまりで寝そべっている子などそれぞれが水と向き合います。水が顔にかかるのが嫌な子、裸足が嫌いな子、水着に着替えたくない子など水やどろどろ、ベチャベチャが嫌いな子もちろんいます、これも水に向き合ってますね。このように多種多様な水へのアプローチの仕方が幼稚園にあり、子どもたちが選ぶことができることを大切にしています。そうした中で、子どもたちが自分の選んで水と触れ合い、楽しさを見出していくのです。こうしたプロセスを踏めることにより子どもたちはより集団での遊び、活動が大好きになっていくのです。先月のびわと同じになってしまいますが私たち教職員が教えたり、伝えたりするよりも何倍も何十倍も水の方が大先生に成りうるのです。水に触れる、入る、流れる、注ぐ、溢れる・・・磯遊びでそれまで見ていなかったところをクローズアップして見てみると色々な生き物や不思議さに気付けたように当たり前のようにそこにある水も様々な向き合い方を通してそれは教材となり、子どもたちの学びのきっかけとなるのです。この時期だから伝えられる水の魅力を子どもたちと共に覚えていければと思います。何よりも暑い時、クーラーの涼しさでなく水をザバーツとかぶって大はしゃぎして、疲れきってお部屋で一休みする気持ち良さを幼児期から経験してもらいたいです。

片瀬のぞみ幼稚園園長 横山流